

新人看護職の約6割が辞めたいと思ったことがあると回答しており、2年目に向けてのフォローや相談体制の充実を希望している

調査の概要

調査目的	新人看護職の現状を把握し、今後の看護職の定着確保対策の基礎資料を得る
調査対象	千葉県看護協会会員施設(622施設)及び訪問看護ステーション管理者調査において新人を雇用したと回答した訪問看護ステーション(4施設)の新人看護職員
調査時期	令和5年9月15日～令和5年9月29日
調査方法	千葉県看護協会ホームページのアンケート機能を活用したWeb調査。 千葉県看護協会会員施設の看護管理者宛に、調査依頼を郵送し、新人看護職員に配布を依頼
回収状況	回収数：949名

調査結果のポイント

1. 回答者の属性

- 性別は、「女性」が93.0%、「男性」が7.0%であった。
- 社会人経験については、「ある」が19.2%「ない」が80.8%であった。
- 養成所の所在地は、「県内」68.9%「県外」31.1%で、卒業学校等は「大学」が最も多く48.2%、次いで「看護学校」46.9%の順であった。
- 職種は、「看護師」が最も多く91.5%、次いで「助産師」が3.4%、「保健師」が3.2%「准看護師」が1.9%であった。
- 就業施設の所在地は、「千葉市」が最も多く175人、次いで「柏市」85人、「船橋市」70人の順であった。就業施設は、「病院」が96.3%で、病院規模別では、「500床以上」41.4%、「400～499床」18.9%、「300～399床」17.3%の順であった。

表1 施設規模・施設等 (n=949)

病院						
20～99床	100～199床	200～299床	300～399床	400～499床	500床以上	病院合計
19	72	87	164	179	393	914
2.0%	7.6%	9.1%	17.3%	18.9%	41.4%	96.3%

無床診療所	有床診療所	市町村	健康福祉センター	訪問看護ステーション	介護保健施設	社会福祉施設	その他
0	0	15	12	5	0	0	3
0.0%	0.0%	1.6%	1.3%	0.5%	0.0%	0.0%	0.3%

2. 辞めたいと思ったことの有無

- 辞めたいと思ったことの有無は、「ある」607名(64.0%)「ない」342名(36.0%)で、辞めたいと思ったことがあると回答した新卒看護職員は過去3年間で最も低かった。

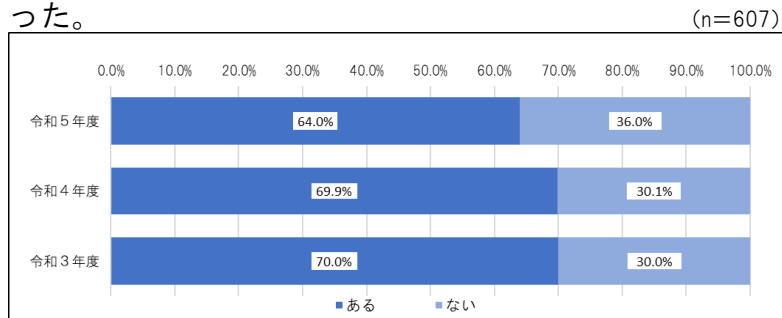


図1 辞めたいと思ったことの有無(3年推移)

○辞めたいと考えた理由は、「勤務時間内に仕事が終わらない」57.0% が最も多く
 次いで「自分は看護職にむいていないのではないかと思う」53.2%、「医療事故を起こさないか心配である」50.4%の順であった。(n=607)

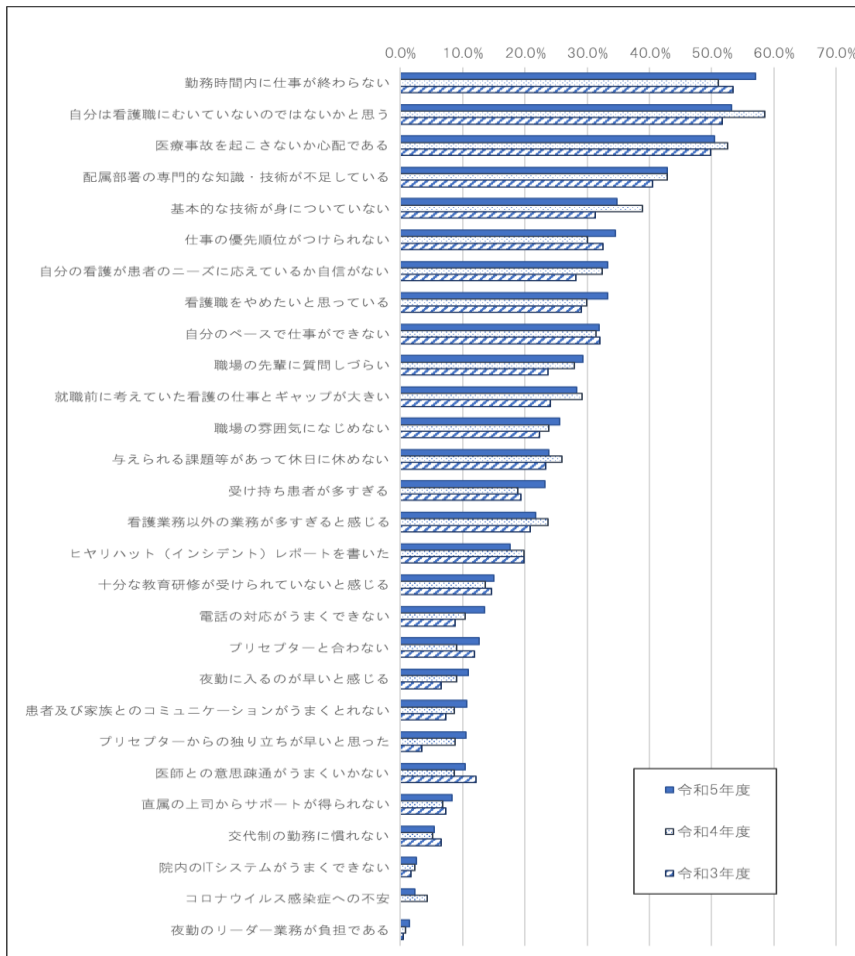


図2 辞めたいと考えた理由（3年推移）

○辞める事を思いとどまった理由は、「生活していくための手段」が最も多く61.3%、
 次いで「収入が安定している」22.6%、「自分なりに整理がついた」22.2%の順であった。(n=607)

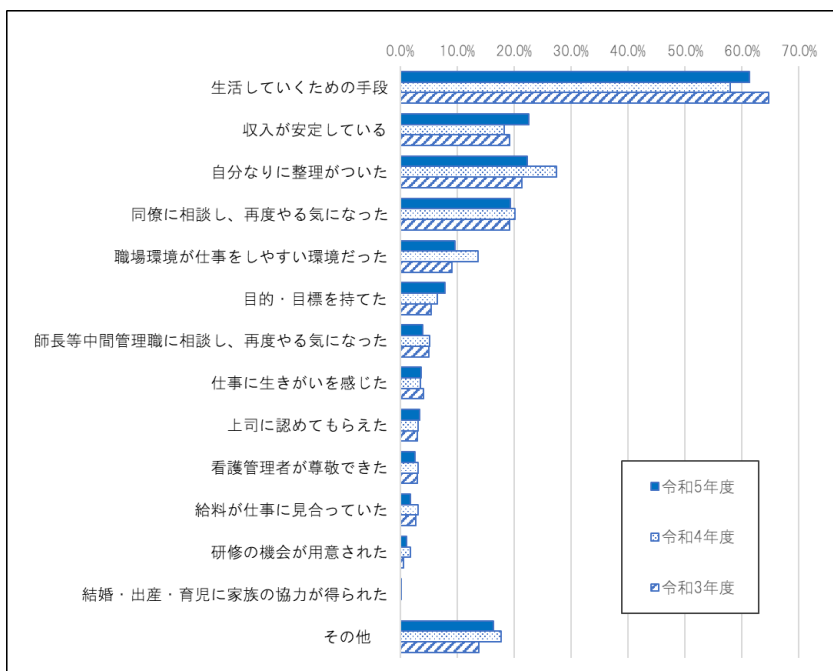


図3 辞めることを思いとどまった理由（3年推移）

3. 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、困ったこと・苦労していることの有無

○新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、困ったこと・苦労していることの有無は、「ある」34.4%、「ない」65.6%で、困ったこと・苦労していることがあると思った理由（複数回答）は、「感染が怖い」が最も多く70.6%、次いで「ストレス発散ができない」37.4%「同僚との交流が少ない」31.9%の順であった。

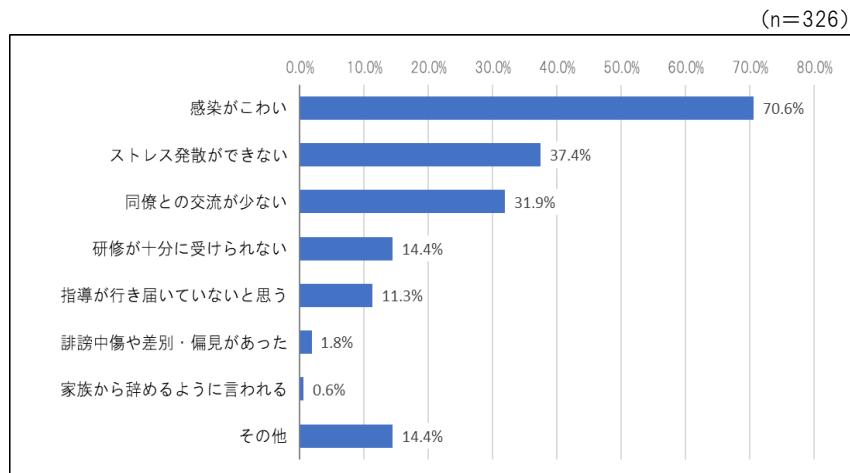


図4 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い苦労困難している理由

4. 就業2年目に向けて勤務先に対して希望すること

○就業2年目に向けて勤務先に対して希望すること（複数回答）は、「感染に対する知識・技術以外の技術等についてもっとフォローしてほしい」39.5%が最も多く、次いで「相談できるサポート体制を充実してほしい」33.2%「交流の場がほしい」が23.9%の順であった。

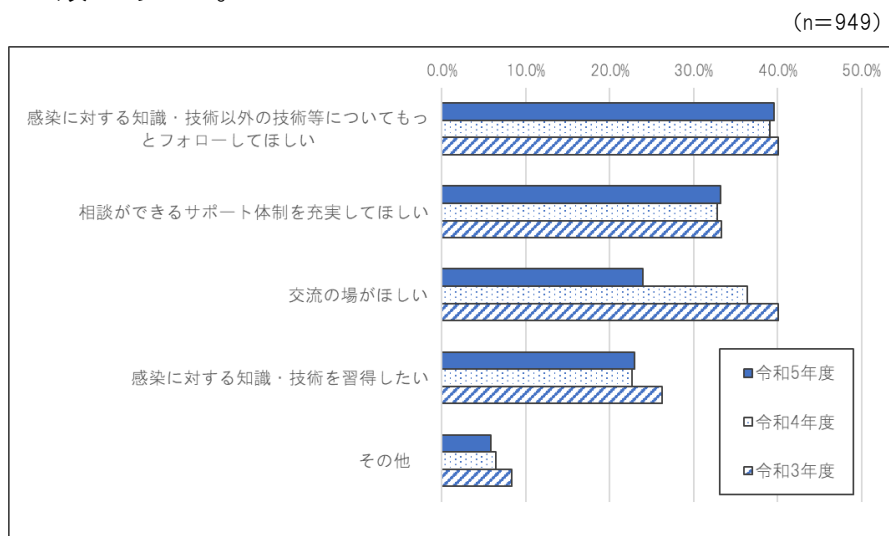


図5 就業2年目に向けて勤務先に対して希望すること（3年推移）